



陣屋小だより

学校教育目標

かしこく
やさしく
たくましく

令和8年3月2日

第11号

かしこく やさしく たくましく

校長 保戸田雅之

上旬には雪が降り、下旬には夏日を観測するという慌ただしい2月でしたが、市内の他校に比べるとインフルエンザの流行はそれほどではなく、ご家庭での体調管理に敬意を表したいと思います。

さて、一年の締めくくりとなる三月を迎え、「かしこく やさしく たくましく」という学校教育目標のもと、子供たちが成長した姿を校内のあちらこちらで感じています。

かしこく



上の写真は、外国語の授業の一コマです。6年生が、新座中学校の3年生とオンラインで英会話をしています。小・中学校が連携して学習の質を上げる取組が始まっています。今後も「いろいろな人と学ぶ」実践を工夫していきたいと思います。

やさしく

先週から行われている授業参観・懇談会。初日の火曜日は、給食後の清掃がないロング昼休みの日課でした。たくさんの方々が来校するのに、校内が汚れているのは恥ずかしいと思い、私は箒を持って「たんぼぼ階段」に向かいました。すると、すでに6年生が掃除を

していたのです。掃除のない日に、担当場所でもないのに、考えて行動している「かしこく やさしい」姿に感動し、とても誇らしい気持ちになりました。



ホームページで教育活動の様子を紹介しています。ぜひ、アクセスをお願いします。

陣屋小学校 HP <https://e-jinya-c-niiza.edumap.jp/>

また、先日、下校する陣屋っ子に、「さようなら、気を付けて。」と声をかけると、「さようなら」ではなく「ありがとうございます。」という返事が返ってきました。おそらく、「気を付けて」という相手の気づかいに対して感謝の言葉を返したのだと思います。素敵な言葉のキャッチボールができる「やさしさ」に、心が温かくなりました。

「あいさつのできる陣屋っ子に」という思いから、子供たちよりも先にあいさつの声をかけるようにしてきましたが、気づけば、声をかけられることが多くなっています。自然なコミュニケーションができるように成長したことを実感しています。

たくましく

冬の寒さに負けず、一輪車や縄跳び、サッカーなどの運動遊びに夢中になっている子供たちのたくましさは、本当に素晴らしいです。転んでも、すぐ立ち上がる粘り強さも、陣屋っ子の強みです。養護の先生からは、けがや体調不良で保健室にくる子が、今年度はとても少なかったと報告がありました。これも「たくましさ」の象徴です。

一年を振り返ると、子供たちの学びや遊び、友達との関わりの中で、「かしこく やさしく たくましく」の目標が成果となって表れていることを嬉しく思います。保護者の皆様や地域の方々には、教育活動への協力や温かな見守りをいただき、心より感謝申し上げます。

卒業や進級を間近に控え、子供たちが新しいステージに進む準備をしています。これからも子供たちのかしこさ やさしさ たくまさを育む場として、陣屋っ子一人一人の挑戦と成長を支えていきたいと思っています。皆様のご支援、ご協力を引き続きお願い申し上げます。

